

感染生物学特別講演会 I

演題：病原微生物学の研究・教育

演者：森川一也

筑波大学医学医療系 生命医科学域 准教授

日時：2015 年2 月 9日（月） 17:00-18 : 00

会場：イノベーション棟 8 階講堂

要旨：

一つの転写因子が合理的な表現型の変化をもたらすという美しい現象への興味を端緒とし、常在性病原細菌である黄色ブドウ球菌を主な材料として研究を進めてきた。本菌の高い適応能力には、その基本メカニズムが未知のものが多く残されている。これら適応機構の解明を目標とした研究を通して新しい「細胞構造の動態」や「集団多様化」を見出してきた：核様体の凝集、脂質成分の変動、乾燥を生き抜いた細胞が獲得するストレス耐性、サブポピュレーションに限定して発現する遺伝子群の存在などである。今後はこれらの基礎的な研究を発展させるとともに、近年見出した自然形質転換能と薬剤耐性化に関する研究をすすめることも重要であると考えている。

「病原細菌の適応機構」をキーワードとはするが、その中で大学院生には課題の発掘においても展開においても自主性を尊重した指導を続ける。学群学生にも疑問や興味を自分で発掘して解決する楽しみを伝える工夫を続けたい。

連絡先：筑波大学医学医療系 野口雅之（内線 3750）